

加賀電子株式会社
2024年3月期（第56期） 第1四半期 決算
主な質問と回答
決算発表日： 2023年8月3日（木）

<ご留意事項>

当社は第1四半期においては決算説明会を開催しておりませんが、決算発表後のアナリスト、投資家とのIR面談での質疑応答を「主な質問と回答」としてまとめました。全てをそのまま書き起こしたのではなく、当社の判断で簡潔にまとめたものであることをご了承ください。

また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了承ください。

質問：第1四半期の業績が計画比で好調だった要因はなにか。

回答：電子部品事業においては、期初の想定通り、スポット販売はほぼ解消しましたが、顧客における在庫調整の影響が想定よりも限定的であり、結果として社内計画を上振れた着地となりました。また、情報機器事業等そのほかのセグメントについても順調に推移しました。

質問：加賀FEIが前年同期比で減益となった要因は何か。

回答：加賀FEIでは、ソシオネクスト製品の販売が伸長したことから、前年同期比増収となりましたが、スポット販売がほぼ解消されたこと、ならびに取引先の民事再生手続き申立てに伴う評価損および貸倒引当金繰り入れなどにより減益となりました。

質問：エクセルの利益率向上の要因は何か。

回答：海外向けの液晶ビジネスが減少するなど、販売構成の変化により利益率が改善されました。

質問：前期末から在庫が増加しているが今後の見通しはどうか。

回答：当社の在庫については、基本、全てお客様からの発注・実需にもとづくものですが、部品販売ビジネスではお客様からの要望により当社で一定期間預かっている場合もあり、それが前期末より約140億円増えております。今後は期末に向けて、在庫高のポジション、回転日数について適正な水準となるよう取り組んでまいります。

質問：計画比上振れと順調な進捗のようだが、業績見通しの上方修正はしないのか。

回答：第1四半期においては、売上高、各利益とも社内計画比上振れの好調な進捗となっております。しかしながら、インフレ拡大懸念や地政学リスクの長期化など不透明な経営環境の中で、期初に想定していた在庫調整の影響や今後の需要動向も慎重にみて、業績見通しは期初予想を据え置きました。業績修正につきましては、今後、第2四半期の進捗を踏まえて、適切に判断いたします。

以上